



阿蘇

草原再生

子どもたちへ引き継ぐ千年の草原

No.13

阿蘇草原再生ニュースレター

2007.12

<http://www.aso-sougen.com>



秋の採草地

干し草刈りの時期、草原は一面、縞模様や点々模様のパッチワーク。

牧野組合等による草原維持活動を支援しています

阿蘇の草原は、牧野組合など地元の方々が利用し、管理を続けることで維持されてきました。しかし、高齢化や後継者不足などにより野草の利用が減り、野焼きなどの管理作業もこれまでと同じように続けることが難しくなっています。環境省では、雄大な草原景観と様々な動植物が生きる豊かな草原環境が守られるよう、平成 17 年度から、牧野組合の方々と協働による「野草地環境保全実施計画」づくりを実施しています。そして、この計画に基づき行われる草原利用や維持管理作業の省力化のために必要となる環境整備について環境省としてできることを事業化し、草原再生につなげていきたいと考えています。

平成 18 年度までに 3 牧野で計画が作られ、その結果をもとに、作業道整備や小規模樹林地の除去などが進められています。

「野草地環境保全計画」策定から事業化までの流れ

策定された「野草地環境保全計画」に基づき、野焼きなどの草原維持活動の省力化につながる事業（例えば、野焼き・採草のための作業道整備、小規模樹林地除去など）について、環境省事業として実施することを検討します。

牧野組合と環境省の協働による調査・計画づくり

牧野調査

(長老などへのヒアリング、現地調査等による)

- ・ 牧野利用・管理の経緯
- ・ 植物の生育状況
- ・ 牧野内の地名と由来 など

野草地環境保全計画作成

- ・ エリア別の草原利用・維持管理方針
- ・ 今後必要な管理、整備の計画 など

作業道整備・小規模樹林地除去など
環境省事業を実施

牧野組合等による野草地の再生及び
維持管理活動の継続



草小積み景観を再生

環境省では、平成 16 年度から阿蘇の風物詩ともいえる草小積みの景観を再現する事業を実施。今年も、12 月初旬から 1 月下旬まで、やまなみハイウエイやミルクロード、国道 265 号などの道路沿いに 180 以上の草小積みが出現し、訪れる人々の目を楽しませています。

